

# 急性期と慢性期病院・介護・在宅施設をつなぐシステム構築 (案)

## medical BIG net

(病院協会、医師会、行政)

湘南西部病院協会

丹羽明博

2018.7.31 システム担当者会議  
於:平塚共済病院

## 背景

- 地域医療構想においては、二次医療圏内で医療関連施設間での円滑な患者の流れを作ることが重要
- 地域において、病院から介護/在宅までを含めた情報共有の必要性
- 医療は非営利業種、介護は営利業種。これが連結できれば素晴らしい

## 目的

- 退院転院を円滑に推進するためのネットワーク構築
- 医療、在宅、介護施設の患者受入情報の公開による湘南西部医療圏の医療の質向上に資する
- 電カルを介さない施設検索機能を持つシステムを開発し、患者の移動については病態に合致する施設を検索して、直接相談して行う

## 機能

- 検索機能：患者条件を入力して検索すると該当の施設を表示する
  - ※ 急性期病院の転院待ち患者検索も可能としたい
- 電子カルテ情報は掲載しない(セキュリティ問題、IC問題)
- 各施設の受入条件や空床情報を長くとも週単位で各施設担当者が登録する

## 運用と効果

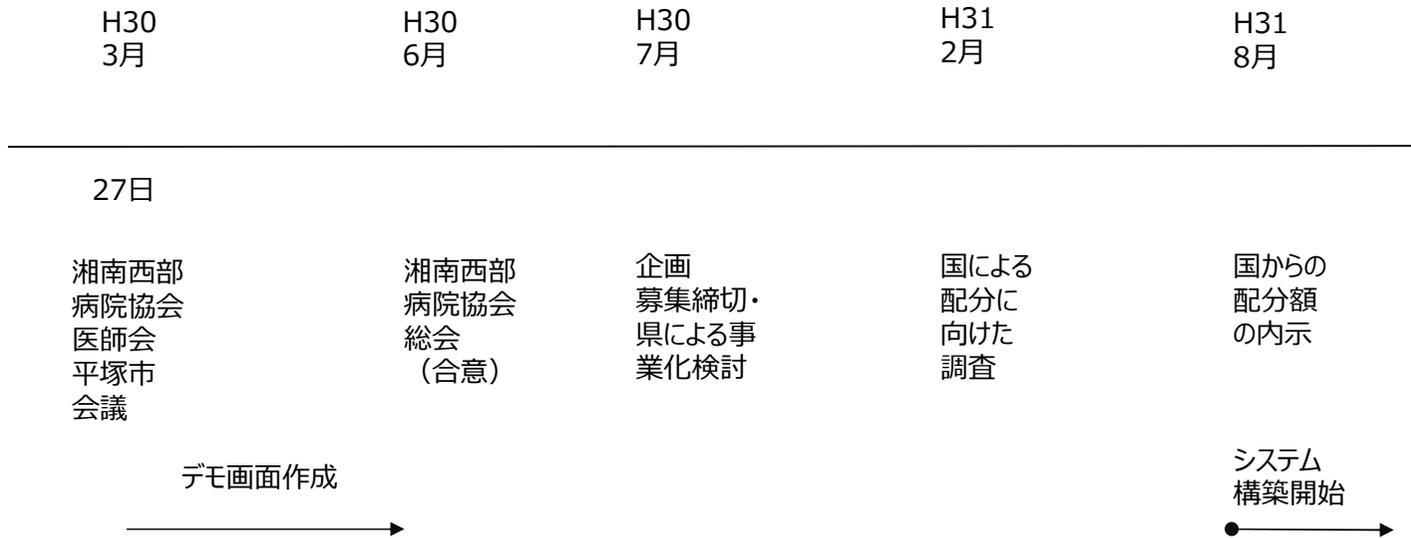
- 受入可能施設等の検索や絞り込みにより、関連する職種での情報共有と業務負荷の軽減

個人情報FAX・電話等で連絡調整し、受入可否等を判断する

- 受入側：情報公開による施設に合った紹介患者の増加が見込まれる

- 誰も把握できていない営利施設の質向上が期待される

# スケジュール



# 活用イメージ



## システム化

- クラウド型の共有基盤を利用  
費用：初期開発費用と月額利用料、メンテナンス費用（項目の変更時等）
- 運営  
システム管理は管理者または業者委託、  
データ更新は各施設  
簡潔な形でスタートする